

## デジタルマルチトランスデューサ KA1D

アナログ(2入力)

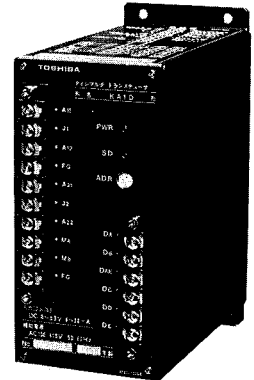
### ■概要

「デジタルマルチトランスデューサ」は外部トランスデューサからの直流電圧・直流電流をデジタル信号に変換しシリアル信号でデータを出力します。

当社製「電力管理用モニタ」と組み合わせることにより多回路の効率のよいデータ処理が行えます。

### ■特長

- 複合機能形のため取付けスペースが節約できます。
- シリアル出力信号(当社オリジナル)のため配線が簡素化できます。
- 高精度の測定が行えます。
- 専用LSI使用により高信頼度です。
- 回路と出力はフォトカプラにより分離されています。
- 電圧入力、電流入力はユーザ側で切換え可能です。



### ■演算部仕様

項目	D C電圧入力	D C電流入力
*3 測定回路	DC 0±5V Z <sub>in</sub> ≥1MΩ	DC 4~20mA Z <sub>in</sub> ≒260Ω
入力範囲	DC 0~±5.5V	DC 0~22mA
分解能	2000count/5V	400~2000count/ 4~20mA
*1 許容差	±0.5%	
サンプリング時間	2秒	
*2 応答時間	最大4秒	
補助電源	AC110V +10% -20%、50/60Hz	
絶縁耐圧	AC2000V (補助電源)	
負担	M <sub>A</sub> -M <sub>B</sub> : 4VA	
動作温度範囲	-10~55℃	
構造	表面取付、前面接続	

注1) 許容差はJEMIS規格に準拠。誤差の算出方法は次式による。

誤差=(出力の真値-出力の規定値)/基底値  
ただし、外部トランスデューサの誤差は含まない。  
電圧入力を基準に調整しており、電流入力の場合の切換え誤差は±0.2%以内とする。

注2) 応答時間は出力が最終定常値の±1%以内に納まるまでのステップ応答時間である。  
ただし、外部トランスデューサの応答時間は含まない。

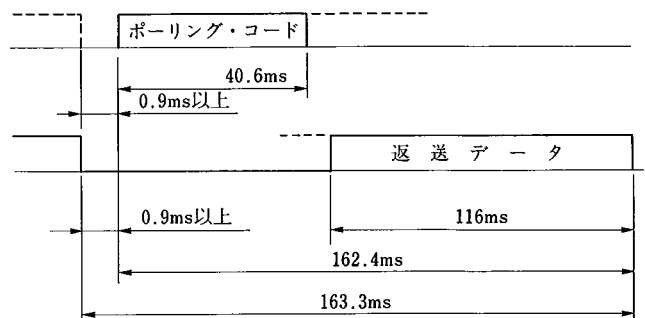
注3) 被測定回路は各回路ごとに絶縁されていること。

### ■出力部仕様

「デジタルマルチトランスデューサ」はセンターからのコード・ポーリングを受け入れそのコード・ポーリングのアドレス信号と「デジタルマルチトランスデューサ」の持つアドレスが一致した場合にデータ返送を行います。

項目	仕様
出力データ形式	シリアル反転二連送方式
通信方式	半二重通信方式
出力形式	オープンコレクタ出力
最大伝送距離	1000m
データ読み出し時間	116ms/測定項目
データ受け渡し総時間	163.3ms/測定項目
伝送速度	1200bps

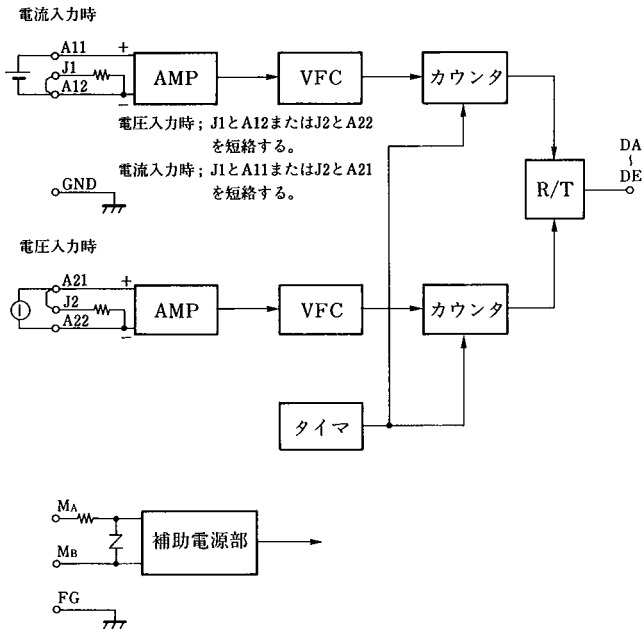
○各項目ごとのデータ伝送タイミング



# KA1D

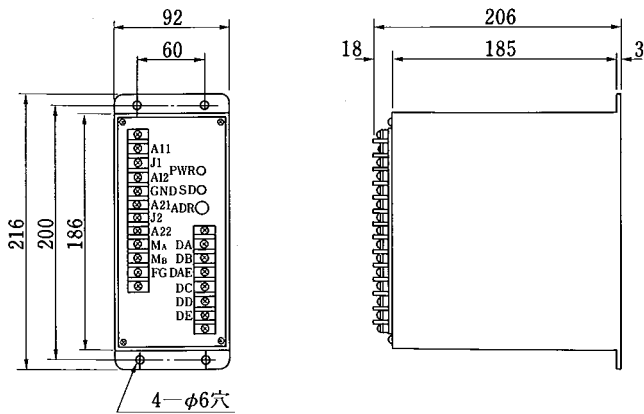
## ■構成

下記ブロックダイアグラムによる。



- AMP……入力増幅回路
- VFC……電圧一周波数変換部
- R/T……シリアルデータ送受信部

## ■外形寸法



塗装色 N1.5(黒)  
重量 約2.3kg

## ■ご注文の際は下記事項をご指定ください。

1. 形名
2. 組み合わせ型式
3. 組み合わせ変成比
4. 乗率
5. 周波数

記載内容は、設計変更その他の理由により、変更させていただくことがあります。

59.12.(N)初版  
61.7.(N)第2版